



Red Hat AMQ 7.7

AMQ Interconnect 1.8 のリリースノート

AMQ Interconnect リリースノート

Red Hat AMQ 7.7 AMQ Interconnect 1.8 のリリースノート

AMQ Interconnect リリースノート

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2023 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release_Notes_for_AMQ_Interconnect_1.8.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本リリースノートには、AMQ Interconnect 1.8 リリースに含まれる新機能、改良された機能、修正、および問題に関する最新情報が含まれています。

目次

第1章 機能拡張	3
第2章 修正された問題	4
第3章 既知の問題	5

第1章 機能拡張

- **ENTMQIC-2354 - 最大メッセージサイズを設定し、これを超える試行を明確なエラーで拒否する機能**

vhost ポリシー定義で、新しい **maxMessageSize** オプションがサポートされるようになりました。**maxMessageSize** の値は、仮想ホストへの接続に許可される AMQP メッセージ転送の最大サイズ (バイト単位) を決定します。

- **ENTMQIC-2450 - モバイル同期をコアモジュールとして再実装する**

AMQ Interconnect の以前のリリースではモバイルアドレスがサポートされていたため、アドレスのユーザーはルーターネットワーク内の任意のルーターに直接接続でき、トポロジー内を移動することさえできます。メッセージを複数のコンシューマーにブロードキャストして、または複数のコンシューマーに分散している場合には、アドレスのユーザーはネットワーク上の複数のルーターに接続する場合があります。

このリリースでは、モバイルアドレスのサポートは、この機能のパフォーマンスを向上させるためのコアコンポーネントです。

- **ENTMQIC-2451 - 特定の接続のルータートレースログをオンにする機能を追加**

このリリースでは、**qmanage** を使用して、特定の接続のプロトコルレベルのトレースログを有効にすることができます。

- **ENTMQIC-2452 - メトリクス名前に qdr 接頭辞を追加します**

一意性を確保するために、すべてのメトリックに文字列 **qdr** が接頭辞として付けられるようになりました。

第2章 修正された問題

- **ENTMQIC-2424** - SASL プレーンで設定されたリスナーに対して空のユーザー名とパスワードを使用すると、Qpid ディスパッチコンソールが接続を開こうとし続ける
以前は、HTTP リスナーが SASL プレーン認証を使用するように設定されている場合、ユーザー名とパスワードの両方のフィールドを空にしてコンソールにログインしようとする、コンソールプロセスは継続的にルーターへの新しい接続を開こうとしました。

この問題は修正されました。

- **ENTMQIC-2425** - sasl プレーン認証を使用して qpid-dispatch-console にログインした後、ユーザー名 (トップメニュー) が anonymous と表示される
以前は、SASL Plain 認証を使用してコンソールにログインした場合、正しいユーザー名がコンソールに表示されませんでした。

この問題は修正されました。

第3章 既知の問題

- **ENTMQIC-1980 - Symbolic ports in HTTP listeners do not work**

http オプションを有効にしてルーターのリスナーを設定する場合 (コンソールまたは WebSocket アクセス用)、**port** 属性は数值的に表現する必要があります。シンボリックポート名は HTTP リスナーでは機能しません。

リスナーが以下のように設定されている場合:

```
listener {  
  ...  
  port: amqp  
  http: yes  
  ...  
}
```

これは以下のように変更する必要があります。

```
listener {  
  ...  
  port: 5672  
  http: yes  
  ...  
}
```

改訂日時 : 2023-01-28 11:51:57 +1000